

廃蛍光管ガラスを用いたランプシェードの開発

Development of Lampshade using Waste Fluorescent Lamp Glass

技術支援センター 工藤 和彦・高橋 徹
環境エネルギー部 佐々木雄真・岡 喜秋
製品技術部 中村 勝男

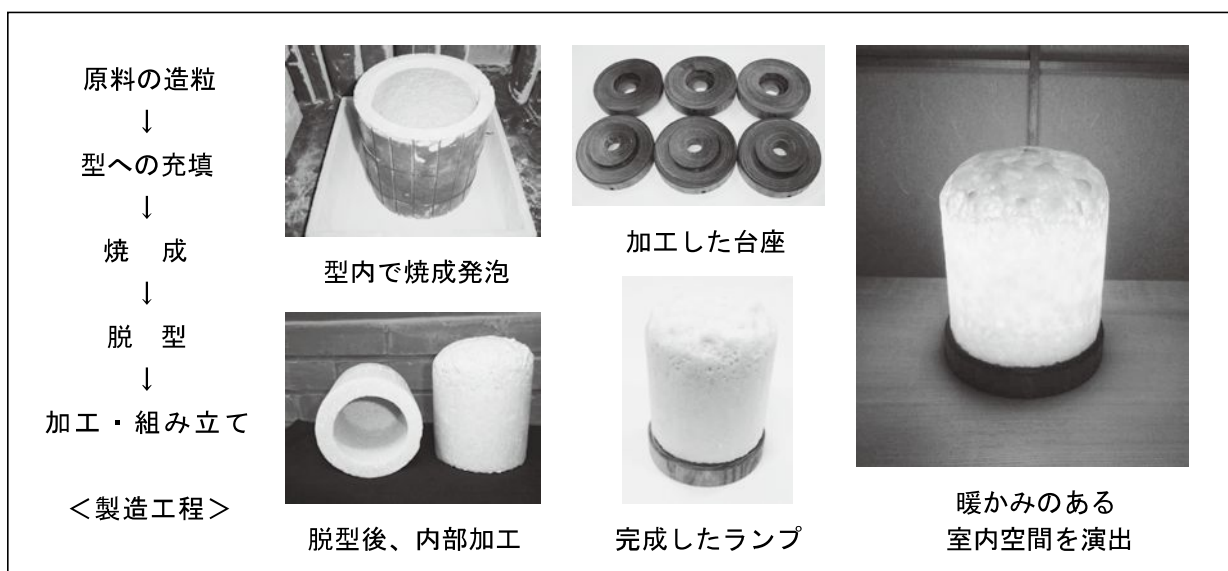
■支援の背景

使用済み蛍光管は、全国で年間約3億本がゴミとなって排出されます。蛍光管ガラスについては、その一部がガラスウール原料などに再利用されますが、大半は埋め立て処分に回されます。

産業廃棄物の収集・処理を行っている(株)テクノでは、廃蛍光管の完全リサイクルを目指しており、当场では廃ガラスを使った製品開発について技術支援しました。

■支援の要点

1. 発泡ガラス製造における基本技術の確立
2. 透光性のある発泡条件の検討
3. 型及び成形法の検討
4. ランプシェード及び台座の加工技術の検討



■支援の成果

1. 発泡率を調整することで、軽量かつマイルドな透光性を実現しました。
2. 自由発泡の特長を活用し、独自の意匠性のある製品に仕上げました。
3. 無機系顔料の添加によって、種々の色彩の製品を得ることができました。
4. 発泡ガラスのため、容易に切削加工をすることが可能になりました。
5. 台座にはエンジュ（イチイ）を利用しましたが、いろいろな素材との組み合わせが可能です。

(株)テクノ 小樽市石山町20番9号 Tel. 0134-29-5951
(株)TCN 夕張郡栗山町字御園215番地 Tel. 0134-22-3388